

山梨県国際文化交流会ミニ広報

山梨県国際文化交流会
<https://bunkakoryujimdo.com>

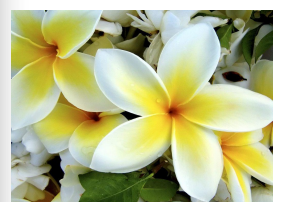
令和元年度 定期総会開催される

今年の定期総会は、令和元年5月18日(土)午後1時半から国際交流センターで開催されました。総合司会は、鮎川理事が担当。最初に田中会長のあいさつがあり、続いて輿石名誉会長、深澤参与より激励のことばをいただきました。二人の激励のことばを聞き、今後の会活動には、身を引き締めて取り組んで行かなければならないという気持ちを改めて強くしました。

続いて議事に入り、司会は神尾理事が務め、始めに平成30年度の事業報告・収支決算報告があり、この報告後、本年度は役員改選の時期に当たるため、事務局より令和元年度の新役員の提案がされ承認されました。新役員については、女性の副会長就任は久し振りであり、杉山洋子理事が新たに副会長の職に就任しました。また事務局にも多数の女性会員が選出されました。男女共同参画が推進されつつある今日においては当然のことと言えるでしょう。

新役員決定後、令和元年度の事業計画・収支予算案が審議され、特に質問もなく無事終了しました。総会への出席者は20数名と今年も少なく寂しさを感じました。これは毎年のことですが、大勢の会員に出席してもらえるような対応策を考えることが重要な課題です。総会も無事終了し、懇親会に入り、持ち寄りのおいしい食べ物を楽しみつつ、会員同士が交流をして親睦を深めることができました。

最後に、アトラクションとして、鮎川理事から日本舞踊が、杉山フラ教室会員からはフラの披露があり、参加者全員がそのすばらしい演技に感心・満足しつつ全日程を終えました。(田中)



山梨大学留学生と過ごす

<ワンデイ・ビジット> 理事 清水 真澄

山梨大学留学生ホームビジットが6月23日に、山梨大学国際交流センターの企画により行われました。本会では例年受け入れに協力していますが、今年は清水がベトナムからの留学生をワンデイビジットとして当初2名引き受ける予定でいましたが、ひとりキャンセルが入り、医学部健康科学博士課程1年次に在籍の HUYNH TRUNG SONさん(男性)を1日受け入れることになりました。当日は10時からオリエンテーションと顔合わせが始まり、その後それぞれの計画に従って行動開始となりました。最初から皆さん打ち解けた様子で、特に受け入れに慣れた方は「ゆっくり家で過ごしてもらって、食事を一緒に作ったり、何か手伝ってもらおうか。」などとまさに日常的な暮らしを味わう時間を提供しようとしていました。このような企画を主催するのは大変ですが、最近多くなってきた留学生、特にアジアからの若者と触れ合うことは意味深いものがあると思いました。

当日はまず恵林寺に行きました。ベトナムでも仏教は流布していて、SONさんの実家の隣もお寺だったので、実はお経を覚えてしまったという話も聞きました。興味深げにいろいろ眺めていましたが、母国にも似たようなものがあったのではと思うと場所の設定を間違ったかなと少し後悔しました。冷やし蕎麦は食べたことがないということでしたが、果たしておいしかったのか疑問です。県立博物館でも、同じアジアの国なら似た点が多かったはず、と考えると、果たしてSONさんを連れて行ったところは彼にとってどうだったのかとその効果の点では疑わしいものでした。

SONさんは医学部博士課程の所属する研究者で、まだ来日2、3か月しか経過していないということもあり、日本語はほとんど意思の疎通には使えそうもありませんでしたので、すべて英語でコミュニケーションしました。今の研究室でのコミュニケーションにおける大学の同僚の反応について疑問に思っていることなどを、率直に話し意見を交換したり、日本人の立場から説明を求められました。「面白い!」と思ったのは、彼が修士課程1年目の学生の研究状況を称賛すると、「そんなに褒めてほしくないと迷惑そうな反応を露骨にし、周りも同様なので不思議で仕方がないが、いったいなぜなのか。」という質問でした。SONさんは笑顔がとても優しいような誠実な人柄を感じさせます。「ほめられたほうの学生も周囲も、まだ研究段階は初級でありこの先重要な高度の研究が控えているのにこのくらいで大げさな、とても思ったのでしょうか。日本人はある意味褒められ慣れていない。本当は褒められたいが変なプライドが邪魔して素直に反応できない。それを素直に言葉化できない。特にまだ日本の男性はね。」というような返事をしておきました。皆さんはどう思われますか。



とにかく初めての留学生受け入れは、当日まで不安とややストレスでしたが、結局自分のほうがSONさんに気を使ってもらったようなものでした。自分のこともたくさん話せたし、SONさんの話も聞け、ベトナムの豊富なドライフルーツのお土産までいただいてしまいました。SONさんには果たしてどうだったでしょう。後で思えば近くの武田神社と私の元勤務先の高校にでも連れて行ってあげたら、日本独自の神社や神道、そして日本の高校あるいは高校生について知ることができ、より有意義だったのかも知れません。灯台下暗しとはこのことでしょうか？

今後の予定



1. 韓国料理教室 — 10/26(土)
2. 外国人から意見を聞く(国際交流・会員親睦) — 12/7(土)
3. 出前授業(甲斐市立敷島南小学校) — 12/12(木)
4. ベスイ・フラスタジオ15周年記念発表会(協力)—8/31(土)

語学講座の実施

- 1)英語講座 2)中国語講座 3)韓国語講座 4)エスペラント語講座
内容:いずれも初心者を対象とし、基本的で実用的な日常会話を学ぶ
期日:令和2年1月~2月

外部団体主催行事への出席

日	時	行事	場所
11/9	13:30~	社会教育振興フォーラム	敷島総合文化会館
11/20	13:00~	県社会委教育研究大会 第1回指導者養成研修会	敷島総合文化会館
12月初旬	17:30~	山梨大学留学生懇談会	山梨大学
12月20日	13:30 ~	やまなし女性国際セミナー	男女共同参画推進センター(ぴゅあ総合)
1/18	13:30~	YIN新春多文化交流会	国際交流センター
2/29	13:30~	第2回指導者養成研修会 県PTA協議会と共催	桃源文化会館

